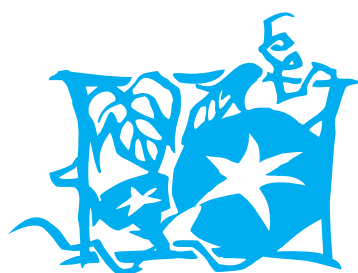


令和七年度

太田中央ライオンズクラブ

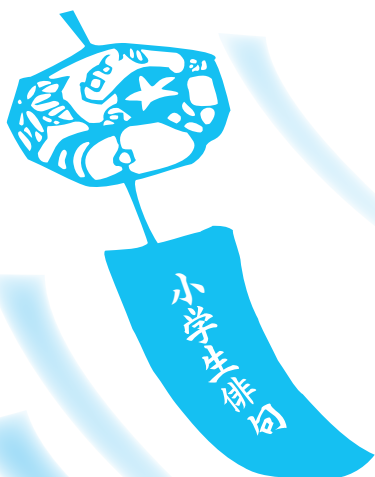
子供育成事業



# 第十三回 太田市小学生俳句コンクール 作品集

主催… 太田中央ライオンズクラブ  
後援… 太田市・太田市議会・太田市教育委員会

上毛新聞社・群馬テレビ・太田商工会議所  
太田市青少年育成推進員連絡協議会  
太田俳句協会





## 巻頭言

太田市小学生俳句コンクール選考委員長  
上毛新聞ジュニア俳壇選者

鈴木 伸一

小学6年生の皆さんですから、アルベルト・アインシュタイン（一八七九―一九五五）という名前を聞いたことのある人も多いと思います。相対性理論や光子説、ブラウン運動などをはじめとする数々の業績によりノーベル物理学賞を受賞し、「二〇世紀最大の物理学者」とも言われるアインシュタインですが、その業績とともにたくさんの名言を残したことも知られています。その一つに「自分自身の目で見、自分自身の心で感じる人は、とても少ない」というのがあり、これは私たちが俳句を作る上でも非常に大切で、学ぶべき点の多い言葉だと思われませんが、さて、この言葉を見て、皆さんはどう感じるでしょうか。「何だ、こんなのは普段からやっている当たり前のことだ」と思う人もいるかもしれませんが、本当にそうだと言い切れるのでしょうか。ここで一度、胸に手を当てて考えてみてください。特に、「自分自身の心で感じる」という部分が重要なのですが、これは何かを見て「ああ、きれいだ」とか「ああ、かわいい」とかといった底の浅い感情とはまったく異なり、自分の持っている知識、感覚、想像力などを総動員して、自分の心の奥深くからマグマのように湧き上がって来る感動へとつながってゆくものだと言えるでしょう。これは、借り物の知識などでは到底出来ることではなく、皆さんがさまざまなことを自ら経験し、その経験を自分のものとして体に取り込んで初めて可能になることです。皆さんには、ぜひ「自分自身の心で感じる人」になってほしいと願っています。

末筆ながら、第十三回太田市小学生俳句コンクールが無事に開催の運びとなりましたことを関係する者の一人として喜ぶとともに、業務多忙にもかかわらず児童の俳句指導にお力添えいただいた各学校の先生方に、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

（プロフィールは24頁に記載）



## お礼の言葉

太田中央ライオンズクラブ会長

濱田 博文

このたびは、「第十三回太田中央ライオンズクラブ小学生俳句コンクール」にご応募を賜り、誠にありがとうございました。今回も多くのご小学校から多数の作品が寄せられ、児童の皆さんの豊かな感性と創意に満ちた俳句の数々に、選考委員一同、心より感銘を受けました。

まず、本コンクールの開催にあたり、多大なるご支援・ご協賛を賜りました各団体の皆さまに、深く感謝申し上げます。地域文化の振興と、次代を担う子どもたちの育成にご理解とご協力をいただきましたことは、私どもにとりまして大きな励みであり、心より御礼申し上げます。

また、児童の作品づくりにご尽力くださった各小学校の先生方にも、厚く御礼申し上げます。日ごろのご指導の中で、言葉に親しみ、自然や季節の移ろいに心を寄せる機会をお与えくださったことが、今回のすばらしい成果へとつながっております。子どもたち一人ひとりの中に芽生えた表現への喜びが、俳句という短詩形の中にいきいきと表れておりました。

俳句は、わずか十七音で心を伝える、日本の誇る伝統文化です。限られた言葉の中に自然へのまなざしや人の情感を映し出すこの表現は、思考力や感受性を高め、他者を思いやる心を育みます。デジタル化が進む現代にあっても、言葉を選び、感じ、伝えるというこの営みは、人と人をつなぐ大切な力でありましょう。

太田中央ライオンズクラブは、地域社会に根ざした奉仕活動の一環として、今後もこうした文化的活動を支援し、子どもたちの心の成長を応援してまいります。来年度もまた、多くの皆さまのご参加と温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。結びの言葉といたします。

末筆ながら、本コンクールに関わってくださったすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。



## 祝辞

太田市長 穂積 昌信

このたび、第十三回太田市小学生俳句コンクールが開催されることを、心よりお祝い申し上げます。

また、長年にわたり本コンクールの開催と運営にご尽力くださっております太田中央ライオンズクラブをはじめ、関係各位の皆さまに深甚なる敬意を表します。

俳句は、限られた言葉の中に自然や季節の移ろい、人の思いを巧みに表現する日本独自の伝統文化です。子どもたちが日常の出来事や身の回りの自然を見つめ、その中から感じ取った思いや発見を言葉に紡ぐことは、感性を育み、豊かな心を養うことにつながります。本コンクールが、未来を担う子どもたちにとって表現の喜びやことばの力を実感する貴重な機会となっていることを、大変うれしく思います。

太田市では、「みんなの笑顔がすぐそばにあるまち おおた」を将来の都市像として掲げ、教育・文化・芸術など多様な分野での環境充実を図っております。これからも、次代を担う子どもたちがのびやかに成長し、心豊かに生きる力を育むまちづくりを進めてまいります。

結びに、本事業のご成功と貴クラブの一層のご発展、ご躍進を心よりお祈り申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。



## 祝辞

太田市議会議長 星野 一広

このたび、第十三回小学生俳句コンクールが開催され、作品集が発行されますことに、心からお祝いを申し上げます。

また、主催の太田中央ライオンズクラブをはじめ関係者の皆様におかれましては、日頃より社会福祉や学校教育の向上のため、多大なるご尽力を賜り深く感謝を申し上げます。

俳句は、日本の四季や心の動きを、ほんの少しの言葉で表現する美しい文学です。小学生の皆さんが、身の回りの出来事を見つめ、感じ取った思いを自分の言葉で表すことは、とても大切な素晴らしいことです。その一つひとつの作品には、皆さんならではのまなざしや発見が光っています。

この作品集が、皆さんにとって思い出となり、これからの学びや成長の力になることを願っています。

今後も、子どもたちの感性豊かな作品を発表する場として、この俳句大会の開催に、大いに期待をさせていただきます。

結びに、太田中央ライオンズクラブの会員の皆様のご健勝と本事業の今後ますますのご発展、そして俳句コンクールに応募してくださった子ども達の輝かしい未来を祈念申し上げます、第十三回作品集発行の祝辞といたします。



## 祝辞

太田市教育長 江原 孝育

第十三回太田市小学生俳句コンクールが盛大に開催され、作品集が発行されますことを心よりお祝い申し上げます。

本作品集には、太田市の未来を担う小学生が紡ぎ出した、みずみずしい感性あふれる俳句が収められています。一句一句に込められた豊かな情景や繊細な心の動きに触れ、私たちは深い感動と新鮮な驚きを覚えます。

俳句は、日本の伝統文化の精髓であり、わずか十七音の中に季節の移ろいや日常の一瞬を切り取る、世界に誇るべき短詩型文学です。この伝統を受け継ぎ、さらに発展させていく皆さんの姿に、大きな希望を感じずにはられません。

このコンクールを通じて、子どもたちは言葉の力や表現の楽しさを学び、また自然や身の回りの出来事をより深く観察する目を養ったことでしょう。これらの経験は、きつと子どもたちの人生を豊かにし、創造力を育む糧となるはずです。

最後に、本コンクールの開催にご尽力いただいたすべての関係者の皆様に心より感謝申し上げます。今後も子どもたちの豊かな感性と表現力を育む場として、本コンクールがますます発展することを祈念いたします、お祝いの言葉といたします。





## 祝辞

太田警察署長 吉田 武

「第十三回太田市小学生俳句コンクール」作品集の発刊を心よりお祝いを申し上げます。

コンクールで受賞された皆さん、誠におめでとうございます。

私は、地元太田市出身であり、地元小学生の俳句コンクール選考に関与できたことに対し、大変喜びを感じております。

今回の兼題は、自由課題だったと聞いておりますが、「夏」を強く感じさせる作品が多かったように思います。

作品の選考で、皆さんの力作に触れましたが、本当に甲乙つけがたく、どの作品も素晴らしいものでありました。

皆さんは今、とても純粹で、素直な感性が研ぎ澄まされている時であります。今後もその感性を大事にしていきたいと思います。

惜しくも受賞を逃した作品の中にも、光る感性が随所に見られるものが多数ありました。

皆さんが今後も四季の移り変わりを敏感に感じ、元気に、心豊かに成長されることを願っております。

また、作品集の編集に御尽力をされました関係者の皆様に敬意を申し上げます。

結びに、本事業を主催します太田中央ライオンズクラブの益々の御発展と関係者皆様方の御健勝・御多幸を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



## 謝辞

太田中央ライオンズクラブ  
小学生俳句コンクール実行委員長

矢部 伸幸

この度は第13回目の太田市俳句コンクールにご応募いただきまして、心から感謝申し上げます。応募のありました873句のすべてを読ませていただきました。どの作品も応募してくださった子どもたちの気持ちが込められており、その若い感性に懐かしさや新鮮な刺激を受けました。これからも俳句という日本特有の文化をいつまでも楽しんでいただきたく存じます。

さて、俳句の醍醐味は風景や気持ちを数少ない言葉で表現するところにあると思います。人に伝えることの難しさは、常日頃から感じていると思いますが、俳句などの作品を作ることで、より素晴らしい言葉遣いに繋がるものと考えています。

結びになりますが、俳句コンクールにご協力いただきました各団体の皆さまや各小学校の皆さま、そして太田中央ライオンズの皆さまには、多大なるご尽力をいただきまして、心から感謝申し上げます。多くの子どもたちに日本文化の楽しさを感じていただけたと思っております。ご協力いただきました全ての皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございます。

## 入賞作品

### ★太田中央ライオンズクラブ会長賞

かけ声で力合わさるおみこしだ

北の杜学園 六年 岡田 莉奈

### ★太田市長賞

母の里歴史受けつぐねぶたの火

北の杜学園 六年 大川 礼

### ★太田市議会議長賞

ラムネ瓶泡の輝き夏祭り

強戸小 六年 大谷 莉菜

### ★太田市教育長賞

八瀬川のカルガモ親子見入る夏

太田小 六年 小谷野 冴徠

### ★鈴木伸一賞

青空に平和を想う夏休み

宝泉小 六年 三井 陽生

### ★太田警察署長賞

ほうずきも洋服ぬげばミニトマト

宝泉小 六年 伴場 梨帆

### ★太田商工会議所会頭賞

暑いけど歩いて学ぶ歴史かな

太田小 六年 近藤 陸斗

### ★太田俳句協会会長賞

パレットで表せるかな夏の海

鳥之郷小 六年 今井彬太郎

## 上毛新聞社賞

コロナ明け夜空に響く夏囃子

太田小 六年 大島 琉嗣

夏休みこれは私の物語

九合小 六年 尾花 結羽

サンダルを川に盗まれ大あわて

鳥之郷小 六年 天笠 翔太

夏休み家族で夢中甲子園

宝泉小 六年 川崎 芭琉

炎天下球場内に打撃音

宝泉東小 六年 高橋 昊世

## 群馬テレビ賞

空青く夏草香りすがすがし

沢野小 六年 福島 花音

静けさに終わりに近づく夏休み

鳥之郷小 六年 岡田 捺希

一つひとつ咲いては上へ朝顔も

南小 六年 須藤 愛紗

ひまわりにわたしの笑顔にてるかも

強戸小 六年 平林 歩稀

夕焼けの真っ赤にそまる大暑かな

駒形小 六年 野村 実玖

## 太田市青少年育成推進員連絡協議会長賞

咲いた花夜空にちって夏始まる

太田小 六年 由良 華暖

鳴いて呼ぶ母さん来てよ雀の子

南小 六年 鈴木 きい

ゆつたりと夜風にふかれる三日月夜

南小 六年 高島二智也

夏の夜に父と語らい駆ける僕

駒形小 六年 前原 悠人

夏休み楽しいけれど暑すぎる

藪塚本町南小 六年 村田 陸

# 小学生俳句コンクール実行委員長賞

夏空に仲間の笑顔忘れない  
 せみの声まどの外からおはようと  
 白球を追いかけて目指す甲子園  
 涼しげにゆれるひまわりわらつて  
 もみじ舞う食すひととき塩むすび

太田小 六年 栗原梨衣奈  
 鳥之郷小 六年 丹羽 雫  
 鳥之郷小 六年 砂庭 叶美  
 休泊小 六年 小林 愛菜  
 藪塚本町南小 六年 金子 祐希

# 小学生俳句コンクール選考委員長賞

海を見て食べるアイスは格別だ  
 榛名湖でのんびりすごすボート釣り  
 きらきらと輝く海に息を呑む  
 青い空プールに笑顔はねあがる  
 夏休みとける暑さの四十度  
 夏休みの思い出背負って学校へ  
 せみの声真つ白ノートほくのあせ  
 バスケットあせが飛び散るゴール下  
 夏の風入道雲までよく飛ばせ  
 万博のリングから見る夏花火

九合小 六年 久保田奈槻  
 宝泉小 六年 生田 健  
 宝泉小 六年 熊谷 優花  
 宝泉小 六年 シノハラジョナス  
 駒形小 六年 高橋 楓  
 駒形小 六年 青木 初峰  
 駒形小 六年 丸山 綾人  
 藪塚本町小 六年 小堀 瑛都  
 北の杜学園 六年 伊藤 道成  
 ぐんま 国際アカデミー 六年 菊池 彩恵

# 太田中央ライオンズクラブ俳句の会長賞

浴衣着るるんはしゃぐ私居る  
 米不足父と一緒に米作り  
 夏の空入道雲がおいしそう  
 積乱雲お空にうかぶわたあめだ  
 ほんおどりほくの心もおどりだす  
 えんがわで木もれ日あびるかきごおり  
 ありがとう花火の下の消防車  
 ワンピース夏色かおるみずいろだ  
 川の声秋風ふいて声変わり  
 かき氷フワフワ山にみつの雨  
 南小 六年 木村 美結  
 宝泉南小 六年 五十嵐 漱  
 中央小 六年 木村 心乃  
 旭小 六年 菊地 杏利  
 沢野中央小 六年 岩澤 洸太  
 世良田小 六年 定方剣太郎  
 生品小 六年 出口虎汰郎  
 綿打小 六年 亀井咲也加  
 綿打小 六年 須永 翔吏  
 北の杜学園 六年 茂木 里桜

### 第十三回 太田市小学生俳句コンクール入賞作品選評

#### ■ 青空に平和を想う夏休み

宝泉小 六年 三井 陽生

【評】 八月六日の広島原爆の日、九日の長崎原爆の日、そして十五日の終戦の日など、みな夏休み期間中にあります。作者はこうした歴史的事実をきちんと知っていて、平和の大切さをあらためて考えたのでしょうか。もちろん、ウクライナやガザのことなども含めて。

#### ■ かけ声で力合わさるおみこしだ

鈴木 伸一

北の杜学園 六年 岡田 莉奈

【評】 どのお祭りであっても、みこしを担ぐと自然に気分が高揚し、体中に力がみなぎってくるのを感じます。そうした人たちが何十人、何百人とそろって一斉に掛け声を出すと、一人一人のエネルギが増幅し、さらに巨大な力に結集して祭りを盛り上げます。

#### ■ 母の里歴史受けつぐねぶたの火

北の杜学園 六年 大川 礼

【評】 ねぶたで知られる尾島町は作者のお母さんの生まれ故郷でもあるのです。ヤーヤドーの掛け声とともに何台ものねぶたが練り歩く勇壮な祭りは一九八六年から始まったそうですが、四〇年近くも受け継がれてきた歴史を作者も受け継いで行ってください。

#### ■ ラムネ瓶泡の輝き夏祭り

強戸小 六年 大谷 莉菜

【評】 夏祭りの屋台はいろいろおいしそうなものが売られていて目移りしますが、清涼感あふれるラムネもいいですね。ふたを開けると炭酸の泡がしゅわつと出て、それがきらきら輝くのを眺めていると、祭りの楽しさが全身に伝わってくるような気がします。

#### ■ 八瀬川のカルガモ親子見入る夏

太田小 六年 小谷野 芽来

【評】 金山の麓を流れる八瀬川にカルガモが営巣し、ひなが生まれてすくすく育っているのです。多分、毎年のことなのでしょうが、今年も無事に親子で暮らしている様子を見ることができて、何となくほっとしている作者の優しさがよく感じられる俳句です。

#### ■ ほおずきも洋服ぬげばミニトマト

宝泉小 六年 伴場 梨帆

【評】 熟したホオズキの外側をむくと、中には赤い実が入っています。「洋服ぬげば」が面白い表現で、さらに赤い実をミニトマトに見立てたことで、一層ユーモラスな印象になりました。ちなみに、ホオズキの実実は品種によっては食べられるものもあります。

#### ■ 暑いけど歩いて学ぶ歴史かな

太田小 六年 近藤 陸斗

【評】 修学旅行で鎌倉などに行ったときのこととも、夏休みに出掛けたときのこととも読めますが、ネットなどからの知識だけでなく、実際に歩いてその場に行ってみないと、生きた歴史は学べません。ブラタモリという人気番組も、歩いて学んでいますよね。

#### ■ パレットで表せるかな夏の海

鳥之郷小 六年 今井 彬太郎

【評】 夏の海も天候によっていろいろな表情に変わりますが、この俳句はいかにも夏らしい青々とした海でしょうね。ただし、青と言っても単純な青一色ではなく、太陽の光で濃い所も薄い所も出来まから、絵にするにも十分な創意工夫が必要になりますね。



# 太田小学校

夜の森かげにひそみしカブトムシ  
せみしぐれ宿題せかし祖母の香  
住むところ皆ちがつても皆人間  
ひまわりをながめつつ感じる夏のおわり

## 九合小学校

夏休み思い出たくさん作りたい  
夏休み遊びほうだい友達と  
夏祭りみこしをかつぐ友達と  
夏休み流れるプール楽しいな  
夏祭り屋台がいっぱい楽しいな  
暑い夏シャリシャリ冷たいかき氷  
夏休み部屋の中でずしんだ  
夏祭りセミの声がひびいてる  
夏祭りいろんな出店楽しいな  
夏がきたひまわりが咲ききれいだな  
夏休みみんなで行く夏祭り  
夏祭り楽しかったな思い出だ  
夏祭りみこしをかつぐ大変だ  
夏祭り花火大会きれいだな  
夏休み冷たいプール楽しいな  
夏休みにはつめたいプール楽しいな  
おいしい夏すいか  
夏の空花火があがつたきれいだな  
夏祭り努力の結晶金管バンド  
夏祭りみんなで踊る盆踊り  
夏祭り出店がたぐさん楽しみだ  
夏休みすずしい部屋でひと休み

六年	石井 蒼将
六年	中野 羽菜
六年	金子 奈央
六年	高橋瑠璃花
六年	高木美結羽
六年	野口 隆紅
六年	大坪 葵
六年	上繁 昊平
六年	佐久本 尚
六年	亀井 康平
六年	平塚 柚妃
六年	安在えみり
六年	萩島ありさ
六年	石山 怜愛
六年	上石 結貴
六年	植松 結正
六年	小林 蓮
六年	木下 和真
六年	二渡 栖衣
六年	ピンゴルセラエル
六年	マックフェルトロイ
六年	高野 瑞姫
六年	杉平 奈紗
六年	松本 大鷲
六年	木村ソフィア
六年	中島 孝大

夏祭り花火や屋台楽しいな  
夏野菜もりもり食べて健康だ  
夏休みかぞくみんなと夏祭り  
夏休み友達といくスーパプール  
夏休み家族と海にいききたいな  
夏祭りスイカを食べるおいしいね  
エアコンで家でごろごろ夏休み  
夏休み花火大会たのしみだ  
夏休み花火の音がこちよい  
花火さき人々わきたつ夏祭り  
せんぶうき右へ左へいそがしい  
夏休み友達と遊ぶ楽しいな  
夏休み暑い日はやっぱりスイカ割り  
夏祭りはじけて咲いた打ち上げ花火  
暑い中頼りになるねせんぶうき  
夏休み花火大会きれいだな  
夏休み川遊びして楽しいな  
夏祭りおみこしかつぐこどもたち  
夏休みキラキラ光る夏の海  
夏休み友達と遊ぶたのしみだ  
夏休み家族といっしょに水遊び  
かき氷食べ過ぎ注意腹壊す  
リンリンと風鈴が鳴る夏の風  
さらさらと流しそうめん風共に  
汗垂れる空を見ながらかき氷  
せみの声いよいよ夏の始まりだ  
夏休みミンミンないてるさいな  
きれいだなハチがしゃべるヒマワリ畑

六年	鯉沼 未羽
六年	今里 りえ
六年	高橋 悠雅
六年	岡田 湊音
六年	山本 煌汰
六年	メトリヤペレラ
六年	江川 蓮斗
六年	関谷莉依沙
六年	服部ひなた
六年	若林 結花
六年	岡田圭那士
六年	大道寺結人
六年	小山田有佑
六年	高橋 伶美
六年	田部井愛佳
六年	吉田 晴南
六年	牛川ユウキ
六年	和田 結絆
六年	村田あいら
六年	カマルゴ千春
六年	上繁 真也
六年	森尻 彩葉
六年	今谷 優太
六年	ヴーハーアン
六年	上原 颯太
六年	久保 詠太
六年	後藤 柚稀
六年	小向 歩夢

目を閉じて耳をすますとセミの声	六年	牛来 愛菜	暑い夏ふうりんの音きれいだな	六年	皆川 彩瑛
きれいだな夏の定番大花火	六年	斎藤 咲桜	ふうりんがちりんとなればすずしいな	六年	小澤 琉希
夏休みやることなくてもひま	六年	斎藤 仁希	夏の日のきれいな音のふうりんだ	六年	江原彩瑠愛
夏祭り汗かきながらフランクフルト	六年	清水 博美	夏休みビーチに行つてスイカ割り	六年	大宮うらら
宿題中青空見ながら過ごす日々	六年	杉岡 佑哉	かきごおり冷たすぎてもおいしいよ	六年	廣瀬 絢士
きれいだなホテルが光る夏の夜	六年	高橋 侑聖	暑い日だうみに入るのきもちいな	六年	森下 蒼太
美しい庭いっぱいジニアだな	六年	田口 詩	スイカ食べ種を飛ばしておこられる	六年	大川 遼将
宿題の絵で書くきれいなカブトムシ	六年	チブナビアルフレド	あいの風幸せ運ぶ素敵かな	六年	遠藤 遙真
夏休みワクワクプールたのしいな	六年	ドミンゴス歩実	夏休み流しそうめんおいしいな	六年	大槻和花奈
猛暑日だ太陽光るざらざらと	六年	福井 駿斗	夏休み友達と祭り楽しみだ	六年	亀田 月彩
つめたいなアイスクリーム夏まつり	六年	ファムバオハン	夏休みスイカを食べて楽しもう	六年	篠塚 優太
夏の虫ねているときに話し声	六年	山越 愛華	姉の夏成果が実る全国へ	六年	恩田 苺凜
ゴーグルをつけてはしゃいだ最高のプール	六年	横澤 銀二	目標達成！がんばったプール「ありがとう」	六年	宮里 姫衣
きもちがいいかざくとおよぐとたのしいな	六年	リナレスナルミ	夏の夜に大きな花火咲きほこる	六年	井上由理乃
部屋で見た夜空に光る夏の星	六年	若菜 隼羽	雪景色家族で温から天風呂	六年	辻本 孝正
旧友と浴衣を着て見る花火大会	六年	渡邊みちる	きれいだな夏の花火が打ち上がる	六年	秋山 美穂

# 沢野小学校

夏休みスイカおいしいすずしいよ	六年	鏡 尊仁	夏休みかがやく海入りたい	六年	大沼 妃翠
ねぶたのよドンとどろく祭り太鼓	六年	藤原 紬	夏は夜花火がすごくきれいだな	六年	荻原 楓人
セミが鳴きみどりが奏でる大合唱	六年	加藤 日菜	夏が好き空がまつさら暑い夏	六年	小澤 虎駕
ナンバー1611がんばるBRAND	六年	サンブラナイチロ	おいしいな真っ赤なすいか夏の日に	六年	小野 遥香
夏休みしゅくだい多いたのしいね	六年	吉田ジャセン	夏休み海に行こうよ楽しいよ	六年	加藤 大翔
夏休みれいぼうつけてゲームしよう	六年	吉野 祐生	夏の空青く広がるどこまでも	六年	五井 瑛人
雪だるま冬はねやっぱり雪あそび	六年	阿久津 楓	夏休み自分をみがく自由時間	六年	小林 愛梨
夏休みお祭行つて楽しいな	六年	大隅 由蘭	夏休み花火で楽しく一日過ごそう	六年	小林 綾乃
かき氷夏に食べるとおいしいな	六年	竹田 栞	夏がきた花火アイスは最高だ	六年	佐藤 朝陽
夏がきた家族で旅行行きたいな	六年	向後 茉那	夏が来たざらざら光るひまわりだ	六年	宍戸 智広
夏休みゲームやり放題最高だ	六年	ルイスケンシ	夏まつり「ドンっ」とひびくきれいだな	六年	高橋実千花

夏の夜花火が上がってきれいだな	六年	武内 遥翔	また夏かすごい暑いぞ熱中症	六年	福田 咲耶
夏休み思い出いっぱい楽しいな	六年	塚越 海星	雪だるま寒いお庭に平気かな	六年	星野 來美
夢にみた打ち上げ花火上がる空	六年	服部 流空	暑い夏こんな時こそ頑張るぞ	六年	松井 凱星
夏は夜花火たくさんきれいだね	六年	平井 駿都	蝉の声聞くと暑さが増えるよう	六年	松澤 寛太
夏休みすすく育つ心など	六年	深澤 七海	花粉症薬を飲むと眠くなる	六年	松本 晴道
あじさいはにじのようだなきれいだね	六年	前原 葵衣	なきつづくはかないいのちせみのこえ	六年	武藤 牙空
夏休みプールに行くの楽しみだ	六年	室井 謙信	大きらい花粉の季節くしゃみでる	六年	矢野 文菜
夏休みアイスがとける暑い日だ	六年	ヤギヨシロウ	ペランダでアイス片手に夏実感	六年	矢萩 亘
真夏日にそうめん食べるおいしいな	六年	柳川凜太郎	夏の海かがやく海面きれいだな	六年	中川 桜子
夏休み毎日やるぞ水あそび	六年	山津 光凜	雪の日も楽しく遊べる雪だるま	六年	松岡 那奈
夏休みきゅうり食べよおいしいよ	六年	吉江 日日	夏休みプールで楽しく遊んだよ	六年	阿部 百花
葦川小学校					
スイカわりはじける笑顔でもわれない	六年	大島 桃子	向日葵が日に照らされてよくのびる	六年	新井 惇
晴れの中海見て笑う六年よ	六年	星野 湊人	かきごおり食べてあたまがキンキンだ	六年	新井 晴登
鳥之郷小学校					
かにさされすこしかゆくてかきすぎる	六年	天笠 元太	夏花火色彩豊かかけめぐる	六年	荒木 愛翔
せみのこえ夏を感じて気持ち良い	六年	天笠 陽仁	外見れば睡蓮が咲いてきれいかな	六年	伊藤 歩夢
夏休み川のせせらぎ涼しいな	六年	新井 創大	夏が来た思い出作り楽しみだ	六年	太田 翔
夏祭り花火がきれい楽しいな	六年	金澤 菜央	ふりそぞぐさんさん太陽炎天下	六年	久保田真桜
秋近し庭でプールも終わらだね	六年	金子 椋太郎	外で見る満開に咲く桜の木	六年	越塚 翔太
夏の夜せみがなきたすミンミンと	六年	小林 蒼月	風鈴がゆらゆらゆれてすずしいな	六年	後藤 美校
かきごおりたくさんたべてふくつうだ	六年	塩澤仁之介	風がふく桜の花びらまいあがる	六年	澤 綾那
友達と楽しいプール行きたいな	六年	新藤 瑠奈	蝉の歌響く金山思い出の夏	六年	新藤 優奈
新しい筆箱どきどきよくさわる	六年	鈴木 里奈	日が沈みあちこち聞こえる夏の声	六年	須藤 天翔
真夜中の打ち上げ花火きれいだな	六年	萩原 彩妃	向日葵が日の光見て笑ってる	六年	竹田 姫夏
暗い夜手花火光るパチパチと	六年	畠山 莉奈	秋になりもみじの色が真っ赤だな	六年	竹政 凜花
軒下につらがができる取りに行く	六年	平野 琥鉄	菜の花に光り輝く日の黄色	六年	橋爪 結菜
美しいピンクの桜咲き誇る	六年	福島 あこ	夏休みあつというまに消えていく	六年	藤原 美心
	六年		夏休み思い出づくり楽しいな	六年	船生 葵
				六年	三ツ俣 栞

あさがおが花をさかせる暑い庭	六年	室田 健志	家の庭夜空見上げて天の川	六年	松本 理葉
涼し風歴史の深い鍾乳洞	六年	八木田愛梨	秋の風かすかに寒き星月夜	六年	服部 侑哉
すいか割り夏ならではのたのしみさ	六年	野村 奈央	夏の夜星ふる空がきれいだな	六年	服部 紗奈
夏休みプール楽しいこといっぱい	六年	武田 真央	プールの日いっぱい食べて楽しいな	六年	小瀬澤颯輝
夏休み友達と行く夏祭り	六年	佐藤 結月	梅雨の朝雨がふりそぐ雨の日だ	六年	吉田 一登
夏休みプールで遊び楽しいな	六年	稲垣 琴音	秋の夜残暑でジメジメエアコンだ	六年	野村 幸輝
せみの声命の限り鳴いている	六年	岡部 結奈	初日の出真つ赤にそまる朝の空	六年	橋本 望
ふうりんのりんりんとなるすずしい音	六年	落合 虹心	年玉のなかみ何円千円か	六年	大越 楓
夏休みアイスを食べてひと休み	六年	太田 琴葉	ひまわりがキラキラ光るきれいだな	六年	根岸 花歩
さらさらと宝石のような夏の海	六年	亀井 美里	霜柱調べてみたたちよーきれい	六年	田部井柚奈
夏休みあついでたのしむよ	六年	岡ノ谷雄斗	食べたいなもちもちしてる鏡餅	六年	杉山 陽南
ああ暑いセミも鳴けない夏の昼	六年	中山 陽登	梅雨明けて晴れた夜空に虫が鳴く	六年	古澤 滯
夏休み旅行たくさん楽しいな	六年	黒川 蒼太	天の川明るい夜空きれいだな	六年	齋藤 夏芽
夏休み県大会でかつやくだ	六年	岩崎 大輝	夏の虫時を感じるかぶとむし	六年	間々田結衣
水遊び怖がる犬とはしゃぐ僕	六年	森下 遙	夏休みしゅくだいの量多すぎる	六年	堀本 聖愛
楽しいな夏しかできない水遊び	六年	藤塚 唯人	かぶとむしなつにいたらねさいこうだ	六年	木村 明輝
楽しい時と真剣になる時を考えよう	六年	新井 雪斗	お月さま夜のくらやみてらしてる	六年	新井 心絆
夏空にひまわりさいてあでやかだ	六年	砂永 萌衣	夏のよるかみなりゴロゴロおそろしい	六年	中岡 健介
鳥の声聞こえてくる山の中	六年	藤本 妃彩	夏の夜の火花はきれいだな	六年	武田 凜
夏休み体調くずさずがんばるぞ	六年	田幡 結人	公園で見つめているの甲虫	六年	星野 結愛
なつやすみかぞくとりよこうたのしいな	六年	後藤蔵乃介	夏休み一日遊ぶ子どもだな	六年	大宮 来兎
夏の今セミの鳴く声聞こえるな	六年	香山 愛睦	夏の夜今日も夕立来るのかな	六年	春山 倅毅
とても暑いプールにはいりすずしいな	六年	今井 翔太	天の川二人を分ける境界線	六年	藤井 颯音
夏祭りヨーヨー釣って楽しんだ	六年	大谷 颯都	風の下勝負にいどむ金魚すくい	六年	宮永 滯
南小学校			梅雨明けて外で遊ぶは子供達	六年	新妻 優仁
七五三人それぞれのねんれいで	六年	島田 咲季	天の川年に一度の再会だ	六年	下園 優生
夏祭りすてきな花火きれいだな	六年	石井 莉桜	夏祭り花火上がるともり上がる	六年	木島 楓佳
お年玉毎年もらううれしいな	六年	正田 芽	こいのぼり風にふかれて泳ぎだす	六年	野口 夏愛

暑い日にふうりんの音きもちいな	六年	渡邊 優衣	秋の夜満月見ながらもちを食う	六年	増田 創士
寒い冬こたつでみかん最高だ	六年	関口 虹歩	せみの声夏のとうらい季節の音	六年	羽生 りん
初鰯一本づりでしんせんだ	六年	カストロールス	冬風とかすかに残る秋の音	六年	中平 陽莉
お年玉この日のために生きてきた	六年	木村 莉子	夏休み楽しいことたくさんだ	六年	津久井愛風
ふうりんがチリチリなるよ永遠に	六年	川村 羽菜	夏の夜の火花で心いやされる	六年	関口来琉翔
夏は花がきれいでさわやかな気持ち	六年	酒井 龍	光る花空に上がりし夏の夜	六年	澤下琉日子
こおりみずひんやりしていてすずしいな	六年	栗原 愛梨	夏の外セミがミンミン泣いている	六年	黒岩 瑛大
寒い時願い事する初詣	六年	金谷琉彩乃	降ってくるまっ白な雪きれいだな	六年	佐川 萌華
桜まう卒業式は思い出だ	六年	野村 怜未	夏の海きれいな貝殻波遊び	六年	木村 南月
なつあつい水あびるのだひんやりだ	六年	小沢 良太	冬の朝雪につららに凍りつく	六年	尾内 莉奏
氷水あついときにはこがねむし	六年	シュクロブナオキ	夏アイスとてもおいしい大好きだ	六年	岡部 古采
クリスマスいい子にしたらプレゼント	六年	大江 柚花	日光があつくまぶしく地をてらす	六年	岡野 悠希
ほととぎす夕焼け空を飛んでいる	六年	塩田 佑真	シーオーツー減らす意識がよい明日	六年	岡野 亘希
夏祭り浴衣に火花きれいだな	六年	白土 結愛	風ふいて桜まいおりあくびする	六年	遠藤 彩音
かき氷時間がたつと水になる	六年	ヤ ヒイ	夏休みきそく正しい生活を	六年	岩瀬さくら
紫陽花のしずくが落ちる雨あがり	六年	安部 千尋	せみの声短命なのにひびいてる	六年	石原 萌絵
休泊小学校			夏休みめんどうくさい宿題	六年	加藤 諒哉
四十度各地で酷暑記録する	六年	押川 瑠亜	暑すぎてセミも布団で寝てるかな	六年	須田妃奈乃
夏の空耳をすませば虫の声	六年	長谷川 葵	夏らしい空にひびいたセミの声	六年	田島 政宗
強戸小学校			熱帯夜雨のにおいと寝苦しさ	六年	今村 結奈
ミンミンとセミの鳴く声夏休み	六年	阿久津宏文	夏休みせみしぐれききころよき	六年	坂庭ひかる
せまりくる夏の終わりと宿題が	六年	山中陽葉里	ゆらゆらと田んぼのいねがなびいてる	六年	高山 志優
爽風にかすかに聞こえる蟬の声	六年	山崎眺太朗	せみがなく短い命つないでく	六年	阿久津颯真
夏休み楽しいけれどゆだんなし	六年	柳 玲衣奈	外見たらパラパラ降るよ白い雪	六年	齊藤 礼
夏の星光り輝く宝石だ	六年	森田 奏翔	ヒマワリの笑顔をふりまく花畑	六年	長尾向日葵
夏の星夜空かがやく大三角	六年	茂木 逢志	赤とんぼ夏の思い出振り返る	六年	佐々木志道
冬なりて雪一面の銀世界	六年	都 和仁	夏祭り遠くて近い火花の音	六年	田島 寧乃
ゆうゆうと泳いでいるよ魚たち	六年	松井 風汰	暑い夏最高だった夏休み	六年	三上 晴司



夏休みプールや海たのしいな  
 春の川少しつめたくなりきらきらと  
 宿題めんどくさいよ夏休み  
 春の風桜まい散る新学期  
 夏だけいつものように異例の暑さ  
 夏毛でも床にのびきる猫まんじゅう  
 風りんの音がするなり夏が来た  
 夏休み宿題終わらせゲームする  
 夏祭り花火があがる空高く  
 こたつの中ねこがぐったりねているな  
 ことしこそかぞくではなびしてください

宝泉小学校

あついなつ夜にはきれいなホタルたち  
 夏休み家族そろって花火の夜  
 金色堂同色メダル目指す夏  
 夏休み計画立てて実行だ  
 せみの声夏をしらせる働き者  
 友達と夏の思い出千葉のたび  
 梅雨過ぎて元気に遊ぶ子どもかな  
 夏休みたくさん宿題いそがしい  
 むしあつく雨もザアザアあつらい  
 みずあそびたのしいけれどあぶないよ  
 帰り道夕やけ雲がきれいだな  
 公園でミンミンと鳴る木の下で  
 夏の夜静に寝息猫の声  
 かき氷青くそまった舌の色  
 誰も居ぬブランコ揺らす空っ風  
 風鈴の音で感じる夏休み

六年	前原 希星	汗の玉手と手をにぎりレディーゴー	六年	田村 海翔
六年	塩田 侑愛	夏の夜に空を飛ぶホタル光っている	六年	塚越 星凜
六年	木暮 一花	いじめつてそんなのないよあたりまえ	六年	塚越 琉翔
六年	小野里 菖	夏の海波音びく水平線	六年	長野 遥香
六年	塚田 旭	春になり新たな出会いはいはまるよ	六年	中山 柊剛
六年	高島 にこ	暑い夏アイスを食べて涼しいな	六年	畑野 遥希
六年	尾内 美智	千葉県で海に飛びこむ家族旅行	六年	廣瀬 源
六年	赤松 七音	夕焼けに影伸びて遊ぶ帰り道	六年	政野 蒼依
六年	藤田 成羽	みんな行くとても楽しい学校だ	六年	宮田 誠二
六年	渡邊 壱球	夏祭り花火が空にうちあがる	六年	村田 依愛
六年	須永 旭陽	晩夏かな橙色に染まってく	六年	青木 茉優
		危ないよ睡眠不足で熱中症	六年	青山 春永
六年	青木 陽翔	暑くないとんぼも休むこの晩夏	六年	赤石 大輔
六年	阿久戸 歩夢	夏休み太陽キラキラ青い空	六年	家泉 真尋
六年	飯塚 優璃	夏休み終わるのはやすぎさみしいな	六年	糸井 萌
六年	石川 想祐	夏休み怖い話で盛り上がる	六年	大淵 昂
六年	今林 明菜	美しい自然環境こわさない地球のため	六年	金子 岳
六年	岩城 伸希	夏の夜空見上げれば星見える	六年	亀井 莉那
六年	河野 有准	あついなつきもちいうみにさあいこう	六年	木島 琉煌
六年	北嶋 綾人	暗やみに静かに灯る線香花火	六年	小谷野 晴子
六年	小泉 夢果	夜の中あたりを照らす夏の月	六年	鈴木 咲希人
六年	小島 涉	ソーラン節みんなワイワイ運動会	六年	塚越 由真
六年	小林 琉生	夏祭り夜空を飾る打ち上げ花火	六年	津久井 碧海
六年	清水 彩華	夏休み楽しいことが色々だ	六年	桒原 優花
六年	菅原 希恵	セミの声外全体にひびき合う	六年	平野 碧莉
六年	鈴木 文乃	友達と楽しく元気夏休み	六年	福島 泰虎
六年	高木 咲良	暑い夏そうめん食べてさわやかに	六年	眞下 莉希
六年	田名網 咲希	授業中耳をすませば蟬の声	六年	山下 聡真

ジリジリと耳をすませば大合唱	六年	吉積 暖乃	助け合いみんな仲よく過ごそうよ	六年	山下 晴琉
夏野菜旬の今こそ食べどきだ	六年	吉本 光希	春の宵夕暮れ時のさびしさはなく	六年	吉田 萌夏
夏の夜林の中のかぶとむし	六年	渡邊 侑梧	<b>宝泉南小学校</b>		
かき氷宿題後のごほうびだ	六年	ホアンカンティー	夏祭り思い出作り友と共に	六年	高屋 杏
かき氷夏の定番おいしいな	六年	安藤 翼沙	ホーム目指し夏空走りどろまみれ	六年	田島 来玖
空の光花火の音がひびいてる	六年	磯部 永実	暑い夏食べたくなるよかき氷	六年	森 皇輝
一つの球追いかけて続け勝ちが来る	六年	井手上海嘉	山の端にひとひら雲が昼寝かな	六年	新井 杏椰
川あそび犬もニコニコ夏の空	六年	大谷 悠翔	夏休みドリルにひょうごおわらない	六年	安部 修平
かみなりやねこもおどろきもうダッシュ	六年	小澤 紗生	空見上げ入道雲現れる	六年	大澤友理奈
友達とかき氷食べキンキンだ	六年	加藤 結月	叶えたい太鼓の上で見る花火	六年	福田みやび
空からの夏の思い出ゴロゴロと	六年	金澤 大貴	<b>毛里田小学校</b>		
炎天下飛んでけボールホームラン	六年	鯉沼 登羽	ひまわりもあつくてぐったり温暖化	六年	河田 美空
あと少し悲しく思う夏休み	六年	木暮 希来	せみの声子ども楽しむ季節くる	六年	鈴木 暖人
友達は私の味方大切に	六年	坂田 彩葉	真夏日ににぎやかな声明明と	六年	松本 夏弥
夏の夜ほたる輝き星のよう	六年	佐々木心優	試合後にボカリ一気です笑う友	六年	藤巻 虎士
花火散る夜空にひびく夏の夜	六年	澤口 司	あずきバー攻略むずしたまごつつち	六年	布施田咲良
夏祭りみんなで笑い楽しみ合う	六年	杉山 拓人	<b>中央小学校</b>		
秋の葉はふむという音楽しいな	六年	田村怜依奈	西瓜割り赤い果汁が弾け飛ぶ	六年	濱田 玲志
夏がきた家族とプールたのしいな	六年	中山 穂叶	来年も七夕来たら願い事	六年	平原 瑞絆
炎天下最後の球が夢を呼ぶ	六年	根本 恭輔	笛ひびく山の祭りや風わたる	六年	グエンティバオアン
夏の森セミがみんな鳴いている	六年	萩原 愛莉	暗い夜ホタルの光り美しい	六年	亀山 湊大
なつやすみひまわりばたけきれいだな	六年	橋本 愛花	初体験かき氷よりもカーリング	六年	山下 怜南
暑い夏アイスやプールのしいな	六年	萩原 帆風	夏の夜いろいろな虫ミュージック	六年	大川 冬真
夏の海すずしい潮風きれいだな	六年	藤田 鋼我	きれいだなひらひらと散る秋のもみじ	六年	グエンティバオウイエン
大切に仲良くしよう友達と	六年	松島 陽向	ふうりんが鳴りひびく中たねとばし	六年	小林 妃織
歴史たち未来へのこしつなげよう	六年	三森あかり	友達と楽しかったな夏祭り	六年	細井 美寿
暑い日に友達と行く夏祭り	六年	矢田 真人	<b>宝泉東小学校</b>		
いじめなしみんななかよくけんかなし	六年	山崎 太凱	雪だるま朝にはとけるまたいつか	六年	青田みなみ

夕日見て田んぼの反射地球みたい	六年	赤坂 楓	楽しいな友達とお祭りに打上げ花火	六年	内田みやの
夏祭り家族とまわるお店屋さん	六年	阿保 綺花	縁側の涼を呼ぶ声風の音か	六年	小沼 葉月
雪つもり上毛かるたがんばるぞ	六年	池田 紬	夏休み元気にすごす一ヶ月	六年	金井百々花
炎昼に外出控え涼をとる	六年	石田 唯人	会場で打ちあげ花火ドカンとね	六年	栗原 愛実
寒い中ココアを飲んで温まる	六年	カストロカズミ	がんばろう最後の試合甲子園	六年	境 泉輝
さくらさき花びらキャッチ運ゲット	六年	木村 怜	チョコバナナをたべて美味しいまつり	六年	サガラリアム
休みの日プールで遊び肌寒い	六年	具志 清美	友だちといっしょにプールたのしいな	六年	シヤフダイリヤ
暑い日にアイスを食べておいしいな	六年	倉田 陽菜	美しいうぐいすの声いつまでも	六年	正田章汰郎
暑い時期ここのりこえればいい自分	六年	栗栖 湊	雲が泣くなかなかやまぬ夕立だ	六年	関口 空良
走り幅汗にじみでる自己ベスト	六年	小宮山隼汰	なつやすみずっといえにいるだけだ	六年	武田 琉生
ぼく達はプールで遊ぶ気持ちよく	六年	齊藤 聖人	夏休み水分補給欠かさずに	六年	中島 陸玖
さわやかに芽出しはじめ始業式	六年	阪本 光輝	暑しの日チリンと鳴るよ風鈴が	六年	永瀬愛莉栖
お花見は家族みんなで楽しむぞ	六年	島村 莉乃	ともだちとゆきがっせんはたのしいな	六年	新島 弘美
山粧う色なき風と山を見る	六年	鈴木 悠太	たくさんゆかた姿とりんごあめ	六年	橋本 莉伊
冬の花キラキラ落ちてとけてゆく	六年	田島 花愛	厳寒やいずれ愛せる時経てば	六年	林 璃緒
新学期友達たくさん作るんだ	六年	太布 早紀	祭りの日楽しみに待つ子どもたち	六年	福田 辰巳
初めてのはなやかにまう雪たちだ	六年	玉城 翔愛	友と行けば我を忘れる暑き祭り	六年	布施ななみ
夏休み川原びびくセミの声	六年	ドスレイスイアン	スイカ割り海辺のそこで割り合うよ	六年	ペレラエンジェル
暑い日の登校のりこえ夏休み	六年	内藤 芽彩	あたたかい春のお花が美しい	六年	松田 愛良
暑き日に英検テスト楽しいな	六年	能瀬 結永	すずしいなきれいな桜さいている	六年	ママリルアドリン
暑い日に冷し中華食べたいな	六年	ニヨットタアン	暑い日にアイスをペロリとけてきた	六年	村田 莉乙
あたたかいきれいなさくらピンク色	六年	野村さくら	桜まうもうすぐみんな中一だ	六年	村野 遥斗
白い粉空から降って雪遊び	六年	ボニックアヤン	オレンジの紅葉の姿立派だね	六年	山崎 太陽
晴天を必死に願うプールの日	六年	持田 理香	友だちといっしょにプールたのしいな	六年	ロイアントニ
浴衣着ていっしょに歩くげたの音	六年	山田 徠実	旭小学校 音たてずさらさら流れる天の川 さようならすぐにさつてく夏休み はるの夕日どうろにうつる人々のかげ	六年	竹田 侑陽
きれいだなドンドンとなる花火のこえ	六年	石垣 愛唯		六年	落合 凜香
夜桜の華やかな空に一目惚れ	六年	伊藤 あゆ		六年	岡田 遥真
桜咲く風で花落ちきれいだね	六年	猪又 秀矢		六年	

空を見ると夕焼け空がきれいだな	六年	澤口 愛実	夏休み夏の月みて花火みて	六年	清水日菜希
パラパラときれいな花火目に映る	六年	西原 優海	鳴り響く雷光の言葉が落ちる	六年	小林 海翔
雪だまですりーポイント大勝利	六年	廣瀬 城里	暑き夏打ち水やりて涼しかな	六年	八木 遙果
桜の木散りゆく様も美しき	六年	金井 稜馬	涼風だ夏の終わりに近づいて	六年	但野 杏莉
夏が来たかがよく花火キラキラと	六年	平石 湖春	外がきれいずっと見てたいさくらの木	六年	佐藤 蒼来
雪だるままどの外では黄色の音	六年	荒牧 一花	河星かな空で遊んで祭りかな	六年	劉 智文
聞いて見て季節感じるほととぎす	六年	岡崎 裕希	梅雨終わりアジサイ垂らす雨水だ	六年	小金澤隼斗
暗やみに光を照らす大はたる	六年	松尾 悠輝	夏休み川の音がひびいてる	六年	臺本 怜那
山登り紅葉もみじなみだでる	六年	今里 蒼	風薫る春は過ぎたと夏が呼ぶ	六年	石井 太陽
真夜中に世界に響く除夜の鐘	六年	大澤 駿貴	新年の一度初じまり春休み	六年	山田 龍毅
山のぼりもみじを見ると力つく	六年	勝部 慈舞	夕立の少しの間は涼しいな	六年	芳賀 琉希
外出ればみえる桜のやさしい声	六年	庭野 昇也	雪が降れば雪の降るだけ笑顔あふれる	六年	橋爪 希心
限らない広い野原に赤トンボ	六年	野村 奏平	芒種日我がたんじょうつゆの中	六年	齋藤 碧衣
もみじの葉山の日と合い美しい	六年	田中 館 渚	蝉時雨夏を感じる夏の峰山滴る	六年	亀井 香梨
夏の川流れの音色鳴り響く	六年	長島 碧与	リンリンとゆれる風りんすずしいな	六年	中川 日葉
さつまいもほくほくうまい秋のしゅん	六年	大山 凜生	放課後にぶらんこで遊ぶ夕焼け空	六年	大澤 武裕
思い出す青空見れば母の顔	六年	伊藤 里緒	桜まう力合わせて未来へ走る	六年	佐藤みなみ
外見れば変わりゆく空黄金色	六年	齋藤かのん	川のそばはたる飛びかう夏の夜	六年	三宅 京里
やっときたかわいく着付け七五三	六年	瀧澤 美羽	耳すませばミンミンミンせみの声	六年	尾花 茉依
クリスマスたのんだ物が届かない	六年	周藤 慶	せみの声心にひびく夏休み	六年	森 楓華
暑いけどみんな楽しみ夏祭り	六年	尾上 仁	海の水空にてらされ光ってる	六年	金澤 潤来
夏の夜涼しい空のあまの川	六年	石田 快	夏休みおもいでいっぱいいたのしみだ	六年	長澤 来希
巳の眠り洞穴の中で春を待つ	六年	クラウス守珊瑚	青春は人が思うにありきたり	六年	尾上 倖
夜の空流れ続ける天の川	六年	小竹 凜	夕暮れと赤や黄色のもみじの木	六年	天笠 智久
雨強く暗い雲の空怖くなる	六年	鈴木 琉偉	今晩はカエルの歌声さわがしい	六年	石井 獅音
アジサイは色とりどりのほうせきだ	六年	鈴木 紗良	カブトムシ羽化した姿はあはれなり	六年	猪俣 陽
すんだ空あの子の涙とさくらの木	六年	関口 薫子	鳥ないて起きてみれば菊に露	六年	植松 葵
とびら開け周りを見れば白き世界	六年	清水 亮佑	夏はまつりはなびでつかいおどろく目	六年	加藤 夏紅

暗い夜大きく光る花火たち	六年	金子 桜	ああ暑い冷たいアイスぶくの友	六年	星野 爽
暑い夜さきほこる花美しい	六年	上正路 蓮碧	去年より短くなった浴衣着て	六年	蓮沼 杏奈
あしあとがひとつふえてる雪のあさ	六年	河合 心海	炎天下ボール追いかけて夏過ぎる	六年	鶴貝 侑凜
ストーブは冬の寒さにまけないぞ	六年	川口 蒼真	夏の夜きれいにさいてちる花火	六年	立川 玲奈
友達とスイカわりしてはなびする	六年	草間 大智	夏祭りヨーヨーわれて水はじく	六年	高澤 梨華
桜舞う笑顔多くの子達かな	六年	工藤 壮真	夏の夜セミがミンミンないていた	六年	関口 統太
クリスマスとてもたのしいパーティーだ	六年	鯨井 允喜	夏休み花火を見てきれいだな	六年	住岡 京香
新しい出会いうれしいな桜といっしょに	六年	川島莉唯紗	セミの声太陽合わせ夏来たる	六年	佐藤 健人
夏生まれ向日葵さきよまつすくな	六年	熊野 葵	夏は海きれいな花火ひびく音	六年	腰高 七翔
暑い夏つくつくぼうし鳴いている	六年	高橋 暁広	夏の夜すずしき風がまど通る	六年	金井 雅季
川の音波うらかに流れだす	六年	佐々木 萌	外行けばめがねくもりし夏の午後	六年	岡田つばみ
もち食べてかねがなるなり年こしだ	六年	立道ゆり花	夏休みアイスを食べて幸せだ	六年	大貫 琉奈
セミの声真夏の昼にあつくなる	六年	小林 翔愛	夏休み楽しい思い出ふやしたい	六年	江積 志優
心までさわやかになるナツミカン	六年	中神 海利	夏野には白南風吹いて頬撫でる	六年	梅澤 優希
うらかな日桜舞い散るあざやかに	六年	不知さくら	焼けた肌プールへ飛びこむ夏の子だ	六年	生田 悠真
夏休み日本がポツダム平和時代	六年	深谷 夏稀	せみの声木のそばでなく夏の歌	六年	綾部 孝亮
天の川七月七日会いに行く	六年	濱野 桃花	親戚と祭りに行った夏休み	六年	秋本 健斗
天の川星の流れに笑顔さく	六年	本郷結乃彩	久しぶり友とえがおの夏まつり	六年	相場 莉緒
お花見であたたかい日ざしはるのかぜ	六年	初澤 砂那	花火達家族みんなではしゃいでる	六年	岡田莉々愛
あまがえる冬を越し春に出た	六年	水谷 太一	夏の夜夜空を見上げ流れ星	六年	金子 聖矢
夏夜空光るなつみかんアンタレス	六年	柳 尊統	ひまわりが暑くてかれる夏休み	六年	亀山 紗帆
夏祭りいつも蚊にさされかゆくなる	六年	矢内 椿季	暑すぎる花火大会ひますざる	六年	栗原 伽林
外でたら桜が飛び散る春の朝	六年	森尻 真杜	雨の日に七色できるのめずらしい	六年	北林 凜
駒形小学校					
ひとめぐり長くは生きれぬせみのこえ	六年	眞嶋 聖葉	夏の風ゆれる緑と波の音	六年	小澤 駿
青き海寄せては返す波の声	六年	宮原 心葵	セミのこえスイカをたべたなつやすみ	六年	大谷 悠斗
お祭りで花火バンバンなっている	六年	茂木 晴音	夏休み遊びたりないでも暑い	六年	遠藤 七星
夏祭り金魚すくい魚たち	六年	本間 一翔	夏休みみんなが食すかき氷	六年	岩下 颯太
	六年		暑すぎて犬もばててる午後の庭	六年	角田 菜月



梅ジュースきゃっきゃと口で遊んでる	六年	板橋 葵	夏休みプールであそびつかれる	六年	大久保桜菜
夏の日に犬と元気に水あそび	六年	飯野 凜花	冷蔵庫かき氷あるすぐ食べる	六年	小杉 勇翔
阿蘇の風いこと笑う夏の水	六年	阿由葉響己	夏休み心と体チャージする	六年	小林 太郎
夏きたるにぎわう海辺楽しいな	六年	大舘 琉希	春休み宿題なくてラッキーだ	六年	佐藤 栞
楽しいな友と祭りにゆかたでね	六年	木村 玲那	冬休みアイスをたべるさむすぎる	六年	柴林 泰来
夏の山下ればびびく水の音	六年	夏 錦程	夏の夜空がばくはつにぎやかだ	六年	澁澤 諒介
夏休みプールに行つて日焼けする	六年	松村 侑馬	夏休み宿題わすれ絶望す	六年	島崎 斗楨
夏休み八月終わりにあせるほく	六年	畠山 隼	夏の空いかづちゴロン停電だ	六年	島村 陽向
夏の夢最後の大会甲子園	六年	花見 郁人	暑い日にアイスを食べすぎはらこわす	六年	白石 仁奈
なびく風やさしくゆれる風鈴が	六年	根岸 大裕	暑い日に海に入つて楽しいよ	六年	末川 璃愛
川遊びサワガニ見つけ大はしゃぎ	六年	中山由樹夏	なつまつりきんぎょすくいなみだでる	六年	菅谷 初芽
夏休み猛暑日続き切ないな	六年	鈴木 楓麻	夏休み海に入つて気持ちいいよ	六年	鈴木ひかり
海水が砂と混ざつて夏の雪	六年	濱田うらら	夏休み海に入つてあそびたい	六年	鈴木 瑠莉
風鈴が涼しい音色奏でてる	六年	増田 莉恋	風鈴が夏の始まりつたえるよ	六年	高草木滯奈
聞こえたよ蟬の鳴き声夏が来た	六年	茂木 渉真	エアコンのリモコンがない絶望だ	六年	栃尾 蓮人
城西小学校					
水筒の底見えふりふり青空あおぐ	六年	岸 勇駕	夏の夜花火ピカピカきれいだな	六年	富宇加陸空
川遊び空にひびくよほくらの声	六年	松村 優生	夏休みほくらだけでなく虫もとぶ	六年	中島 優斗
沢野中央小学校					
風鈴がチリンチリンと鳴りひびく	六年	阿藤 彩愛	宿題でせつかくの夏台無しだ	六年	西本 悠真
とおくまで海のひびきがきこえるよ	六年	阿部 優磨	暑い日に食べるスイカは生きかえる	六年	福山 新奈
まぶしいなキラキラ光る夏の昼	六年	石川 心咲	アイス食べ暑さにたえる夏休み	六年	松澤 煌河
セミの声夏の暑さの警報だ	六年	伊丸岡樹来	夏祭りパイナップルで舌いたい	六年	松澤 珠凜
アイス食べ頭がいたくなる夏休み	六年	ウイキシヤ	夏祭り花火がきれいたのしいな	六年	芦沢 大河
セミの声を聞あげて夏が来た	六年	大澤 歩	夏休みみんなで行こう夏祭り	六年	池野 心彩
夏休みアイスを食べて宿題を	六年	大高 莉奈	夏の夜かにさされてイライラする	六年	石井琳太郎
夏祭り花火が叫ぶ我叫ぶ	六年	大家 颯斗	キラピカン空を見上げてきれいだな	六年	江連 葵
サラサラと川の音ひびく夏の面影	六年	小澤妃奈乃	雪だるまとても楽しい冬の朝	六年	大山 七美
	六年		ブルーハワイ富士山のようなナンバー1	六年	小原 康暉
	六年		なつのうみさかなあばれるダイビング	六年	鎌須賀康成

B B Qしてスイカ食べるがべつばらだ	六年	荻谷理々香	夏限定砂はまの上でスイカ割り	六年	富井陽菜多
夏暑い風りんは良いすずしいな	六年	神田 夢果	7月はきせつはずれの暑い夏	六年	富岡美衣奈
夏休み雨がふったら水遊び	六年	菊地 空	冷たいよプールに入る夏休み	六年	手塚 芽依
風鈴の音でめざめるいい夏だ	六年	吉良 真琴	あつい夏ガラガラかがやく夏の光	六年	周藤 芽愛
冬こたつ一度入ったら出られない	六年	佐和田獅音	かきごおりあたたまひえるがおいしいよ	六年	松島 あや
ぬくぬくとこたつに入ってねむくなる	六年	清水菜々子	冬にはねおでんにみかんおいしいな	六年	小林 美夢
雨が降るつゆに感じる涼しけさ	六年	鈴木 優愛	夏がくる家族みんなで川遊び	六年	滝野ひなた
ひまわりが空に照らされ輝いた	六年	関口 陽莉	夏の夜自然の音をきいてねる	六年	高橋 侑希
夏プールみんながぎやあぎやあたのしくあそぶ	六年	高谷ジュリア	スイカたべタネおおすぎてのみこんだ	六年	境野依美瑠
夏休みまだかまだかとまっている	六年	武井 心虹	春がきてさくらがまんかいきれいだな	六年	高橋 咲花
桜咲き色とりどりの春が来る	六年	舘 樹那	かき氷ひんやりしみる体にね	六年	土屋実友音
キラキラと夏の太陽きれいだな	六年	中里 悠人	すずしいなふうりんなって夏がくる	六年	磯 承太郎
せみの声暑さにたえる夏の夜	六年	長谷川煌生	木崎小学校		
暑い夏ガラスのようなかき氷	六年	林 仁武	天の川星が流れる夜の空	六年	栗原 太陽
夏休みヒマワリあつてきれいだな	六年	藤田 望愛	夏の夜空にきらめく大輪の花	六年	塚越 悠斗
アマガエルケロケロなくよ梅雨の朝	六年	茂木 陽太	かき氷家族で味わう夏の涼	六年	石塚 悠乃
セミのこえなつのあいずだたのしみだ	六年	山川 煌人	生品小学校		
世良田小学校			暑い夜風りんびくすずしいな	六年	武藤 司
夏休みとてもたのしいうれしいな	六年	小幡 瑠輝	すきとおるうみべのそばはしおかおる	六年	南雲 花乃
夏休み楽しすぎてすぐおわる	六年	毛呂 竜笙	友達に私にとって宝物	六年	小倉 彩夢
ふうりんのなる音きこえ夏の風	六年	飯島 羽留	友達と野球楽しむ暑い夏	六年	中山慶次朗
ふうりんを部屋にかざるとすずしいよ	六年	吉澤 柚奈	6年生人生最後の小学生	六年	鳥羽 莉乃
ミンミンとセミの歌声空ひびく	六年	石塚 雫	トマトたちまっ赤な顔で笑ってる	六年	田村 花穂
こたつでみかんをたべるおいしいな	六年	清水 昂	夏夜空サソリがオリオン探してる	六年	關塚 蓮
天の川美しい空へ願い事	六年	小出 瑠那	綿打小学校		
夏休みひごろのつかれすぐとれる	六年	笠原 大虎	うきわ持ち青い水面で遊ぶ夏	六年	大川 葵
かきごおりイチゴかメロンなやむよね	六年	谷口 怜奈	炎囲みグリーングリーンとかねひびく	六年	長山 和葉
天の川星の行列に導かれ	六年	鈴木 優花	1学期もうすぐおわり夏休み	六年	山崎 隆晴

うらばんえごせんぞさまのおかえりだ	六年	旭井 晴毅	校庭に色とりどりの葉が見える	六年	菅原 有紗
夏休み見上げる空に大花火	六年	村上 仁美	夏休み多い宿題次々と	六年	長山 海優
うるさいなミンミンとなくせみの声	六年	清水 望弘	天の川願いを川へながれてく	六年	須永 新心
青い空くもがふわりとういている	六年	宮本 夏綺	夏休み最後の日には宿題	六年	平山 慶
かき氷みんなで食べて暑氣払い	六年	千明 蒼	川近くほたるの光点々と	六年	松澤 花穂
なつがきたふゆとくらべてあつすぎる	六年	熊谷 匠人	りんりんとうりんがなる夏の夜	六年	武田 美結
小学校6年間の楽しい思い出つまつてる	六年	松嶋あかり	夏祭り多くの花火きれいだな	六年	丸山 奈々
楽しいなみんなで遊ぶ夏休み	六年	清村幸太郎	暑い夏みんなで注意ねっちゅうしよう	六年	早川 彩芽
ふうりんがりんりんとないている	六年	土屋 蒼士	夏休み友達と会える夏祭り	六年	板倉 朱里
かき氷夏の思い出よみがえる	六年	清村 知央	夏祭りよるのはながきれいだな	六年	相馬 煌虎
暑い夏水と遊んでこちよ	六年	窪田隆之助	夏休みゆめにむかつてはしりだす	六年	川島 翠
夏祭りとてもきれいな花火だな	六年	高田 拳伸	なつやすみかぜのおとなるいとすずし	六年	渡邊 煌
夏の日にセミがいつぱい鳴いている	六年	若林 快李	冬休み雪がっせんでたのしもう	六年	平山 瑠花
すずやかなふうりんの音夏休み	六年	福島 捆	みんなでさ笑ってすず夏休み	六年	小林 心渚
梅雨の時期雷ゴロゴロ鳴りひびく	六年	岩崎 堇	春の朝サクラがさいてスタートだ	六年	高橋あゆ香
ふうりんがすずしい声で話してる	六年	新井 咲笑	夏休み水の事故には気をつけて	六年	三浦 皇騎
空の下青くかがやく夏休み	六年	田幡 友彩	夏の夜空に光る星空	六年	栗原まなと
涼風で夜に風鈴なりひびく	六年	渡辺 希嬉	道ばたでひまわり見えた夏が来た	六年	岩崎 愛夢
暑い夏プール入るの一番だ	六年	高橋 大晴	りんりんと冷しげな音風鈴だ	六年	長谷 遙馬
梅雨終わり真夏の季節やってきた	六年	須崎 晴	暑い夜すず虫笑ういとをかし	六年	鬚川 裕太
夏の夜ホタルの光風とともに	六年	マリナオコービー	梅雨明けはまだだときづくこの暑さ	六年	高橋 輝
夏の夜みあげてひかる大はなび	六年	早坂 想七	夏の山まちから山へああすずし	六年	木暮 大悟
青あらし幼い青葉がゆれている	六年	石井 紅葉	せみがなきかみなりもなりなつが来た	六年	内橋 唯仁
楽しもうみんなと遊ぶ夏休み	六年	秋山 蒼太	藪塚本町小学校		
夏の空ゆうやけ雲をばくは見た	六年	松崎 葉月			
夏がきたあつくてプール楽しいな	六年	荒牧 来飛			
夏がきたあつときこそかきこおり	六年	亀井 真綾			
暑い中みんな遊ぶ楽しいな	六年	栗原 絆風			
			夏休み最後の夏を味わおう	六年	秋山 結南
			冬空につるをとりあうカルタかな	六年	中村 仁咲
			夏祭にかき氷食べおいしいな	六年	大竹莉衣那
			夏休みもつとたくさんあそびたい	六年	小島 広煌
				六年	

夏休みのりこえようよ暑い夏	六年	蓮沼 尚大	スイカ割りみんなの力棒にこめ	六年	永田 遥都
夏休み川がかがやくきれいだな	六年	橋本 惺那	夜が来て大輪が咲く花火かな	六年	馬場 晴基
暑すぎてセミも鳴かない昼日中	六年	新井 悠稀	空の花色とりどりに打ち上がる	六年	藪田 侑奈
静寂にドカンと上がる大花火	六年	飯野 泰地	夏休みみんなと遊んで楽しいな	六年	金井 一真
光る汗熱い戦い甲子園	六年	小林 利居	夏休み宿題多い頑張ろう	六年	平形 望瑠
暑すぎる水をこまめにわすれずに	六年	高橋 裕慎	梅雨があげ夏の本番がんばるぞ	六年	中村 翔子
夏休みみんなでプール楽しいな	六年	眞崎 真美	真夏の日かげをわたって帰る道	六年	森田 愛菜
かきごおりみんなで一口きんとなる	六年	増山 帆野花	学校帰りはやく食べたいかき氷	六年	松田 蓮
夏が来たプールにはいりおおはしゃぎ	六年	吉田 瀬七	ジリジリとみんなたえれぬ暑い夏	六年	岩崎 蹴翔
クラス替え歓声悲鳴大騒ぎ	六年	吉田 みらい	夏の夜ミンミン聞こえるセミの声	六年	島田 琉生
なつのよるまわりを見ればはたる舞う	六年	渡辺 優菜	夏が来た家族でプール楽しいな	六年	齋藤 理心
夏休み外があつくてひきこもり	六年	須田 皓己	そとにてミンミンゼミの夏のうた	六年	近藤 雄飛
冬休みおとまり会でなべかこむ	六年	松本 一途	夏休み思い出づくりの海水浴	六年	石原 叶音
夏休み笑顔いっぱい楽しいな	六年	長澤 陽希	夏の空とんぼがとぶすいすいと	六年	石橋 芽依
夏の日におひさま照らす光る海	六年	川久保まひな	外出ればむしむし暑い夏休み	六年	越須賀悠人
夏祭り歌に合わせて踊ったよ	六年	柿沼 花香	暑い夏じんべいはおつて夕すずみ	六年	齋藤 良輔
窓外に轟く音は揚花火	六年	古川 あかり	夏休み課題たくさん大変だ	六年	尾内 結菜
入道雲わたがしみたいでおいしそう	六年	高橋 飛翔	せみの声よるに始まる音楽会	六年	アヤバンアキシヤラ
最後の年友と過ごして思い出に	六年	ハンジェラアリ	セミの声きこえてきたな夏がきた	六年	島田 晏滋
藪塚本町南小学校			ひまわりと熱きせくらべセミの声	六年	清水 葵
夏休みことしもきたぞ作文が	六年	加藤 壮恭	夏の夜光の中にカブト虫	六年	成塚 善士
向日葵やいつも陽を浴び輝いて	六年	新井 基月	おいしいなだがしはいつもうまい棒	六年	山本 晃大
夏休み今年も暑い大変だ	六年	熊倉 颯大	夏の夜花火大会きれいだな	六年	平形 遙来
夏休みセミがさわぐお祭りだ	六年	桑原 丞玖	夏の夜ふうりんゆれる夏の風	六年	正田 美采
夏祭り夜空にかがやく打ち上げ花火	六年	須永 小夏	たきの汗スタンプラリーで太田知る	六年	青山 隆玖
ジャンプした星がとれそうキャンプ場	六年	高松 柊亜	夏の花ザアザと流れる海の音	六年	神山 晴飛
花火見に夏の夜空花畑	六年	長坂 誠也	夏休み先が見えない宿題だ	六年	白石 直澄
映画館鬼滅の刃面白い	六年	中島 彪			

# 北の杜学園

秋の山赤黄オレンジ美しい	六年	新井 胡夏	夏休み思い出たたくさん楽しいな	六年	蒲原 桃禾
朝ひかる夏の太陽大好きだ	六年	上田 大智	夏祭り花火の下でかき氷	六年	川越 琳
思いやり相手のことを考えよう	六年	太田 仁	年すぎり休日とき一つ年	六年	桑野 拓実
スケジュールすべて家内にもう暑のせい	六年	岡島 敬造	友達に会いたくなるな夏休み	六年	澤口さくら
星光る夜空に広がる宝物	六年	尾林 奈々	夏休み花火大会楽しいな	六年	鈴木 琉生
せみの声夏がはじまるあいずだね	六年	香取 怜	守ろうゴミは道ばたにすてないよ	六年	関 かこ
暑い夏みんなでプール楽しいな	六年	栗原 大輝	富士山緑たくさんきれいだな	六年	高澤 駿
ゲーム機であそびづくしの夏休み	六年	小島 羽琉	風かおる夏の日の朝すずしいな	六年	高橋 花帆
ゴロゴロと夏に見かける黒い雲	六年	小島 悠加	猛暑でも町内一丸お囃子最高	六年	立見 優有
午後の庭暑さでゆれるハンモック	六年	小林楚々乃	友達と花火大会夏休み	六年	中野 心香
かぶと虫暑い真夏をのりこえる	六年	佐々木 暁	アイス食うエアコンの中夏がいい	六年	林 睿哲
夏まつり町内にひびくたいこの音	六年	佐藤 菜月	金山でセミのなき声ミンミンミ	六年	茂木 晴太
帰り道ほたるの光が目映る	六年	澤田 悠馬	夏の海家族と遊び楽しいな	六年	山本 拓真
夏の夜の線香花火キレイだな	六年	清水 翔	夏の日暑くて外じゃ遊びづらい	六年	渡辺 昊
夏休みみんなで仲良く海水浴	六年	霜田 大翔	夜なれば光かがやくほたるたち	六年	アリサピラ
いつくるかとあせをたらしながらまつはなび	六年	高橋 颯真	ミンミンと夏を感じてかき氷	六年	岩崎 花梨
風鈴の音色を聞けば夏来たる	六年	竹田 陽咲	夏海ザアザアひびく波の音	六年	小川 瑛太
学校で友達みんな笑ってる	六年	舘澤 庵慈	夏休みあそんで一日おわってく	六年	柿木 崇助
森想い四角い住み家カブトムシ	六年	舘山 千寿	夏休み兄と留守番友恋しい	六年	金井 彩
夏休み宿題多くて休めない	六年	當間歌風南	夏の朝ぼくの目覚ましセミの声	六年	菊池 蓮太
いじめだよ心ない発言きずつくよ	六年	戸塚 優羽	じいじ還暦笑顔集まる夏休み	六年	木下 結愛
夏休みセミの寿命と同じかな	六年	福田 結衣	夏祭り楽しい時間はあつというまに	六年	久保田裕陽
お祭りの夜店に始まる夏休み	六年	阿部 心春	夏休み家族と過ごす楽しいな	六年	小島 瀬椰
バーベキュー焼く焼く焼くよ肉焼くよ	六年	石井 翔	夏の外かこくな天気毎日と	六年	小林 楓
アイス落ちアリのパーティーはじまった	六年	今井 那美	夏休みゲームでばっかおわってない	六年	齋藤 大地
昼寝から覚めて一言「アイスある？」	六年	浦井 美優	ゆかたきてすこしはずかし夏祭り	六年	高橋 紅愛
夏の夜くらい夜てらす月の光	六年	梶原 丈寿	秋の夜うたげのようになりひびく	六年	千田 瑛人
	六年		猛暑にかろやかに飛ぶとんぼかな	六年	富岡 柚花



夏の夜の花火とともに実る恋	六年	鳥羽 莉央
スイカわりみんなで食べる小玉スイカ	六年	八木田夢菜
日差し除け友と笑って帰る道	六年	米山 莉子
暑い夏ふうりんの音きれいな	六年	渡邊 碧海
夏がきて野球の大会勝ちたいな	六年	渡邊 希心
ぐんま国際アカデミー		
つかまえてにげようと飛ぶカブトムシ	六年	羽鳥 魁
夜の森甲虫めぐりたんさくだ	六年	羽鳥 漸
虹色の天然氷食べたいな	六年	石原妃香侓
暗い朝羽根の音たどりカブトムシ	六年	羽鳥 彰
「いつやるの?」夕方からねセミとぼく	六年	齊藤 慎也

## 投句者数

太田小学校	九句
九合小学校	六八句
沢野小学校	五一句
葦川小学校	二句
鳥の郷小学校	七〇句
南小学校	五一句
休泊小学校	三句
強戸小学校	四九句
宝泉小学校	八〇句
宝泉南小学校	八句
毛里田小学校	五句
中央小学校	一〇句
宝泉東小学校	五四句
旭小学校	八三句
駒形小学校	五二句
城西小学校	二句
沢野中央小学校	五五句
世良田小学校	二三句
木崎小学校	三句
生品小学校	八句
綿打小学校	五六句
藪塚本町小学校	二四句
藪塚本町南小学校	三七句
北の杜学園	六四句
ぐんま国際アカデミー	六句
合 計	八七三句

## ◆編集後記◆

今年も俳句コンクールの終盤を迎えました。特に気を遣うのは表彰の通知文です。〇〇賞は〇〇小の〇〇さんへ間違いないと届けてはなりません。届いてから、それは違う人でしたとは言えません。何回も確認をして賞の種類と名前、学校名を確認します。

そして本人の名前です。近年は読みにくい名前も多く、四苦八苦しています。作品集（データによるもの）には全生徒を載せるため、各学校へ名前を送り確認していただきます。その成果もあり最近では賞状や作品集の名前の間違いはありません。苦労の成果であります。

わたしにとって小学生俳句コンクールはライオンズの恩師である笠原しの遺志を繋ぐことを肝に銘じております。笠原しは鉄工所を経営していました。日本酒が好きで、酔って言われたのは「鉄は柔らかいんだよ」と。一般的には鉄は固いものと捉えます。でも、それを加工している笠原しにとっては「鉄は柔らかい」というのです。物事をこれだと決めつけるのではなく、色々な見方捉え方をすることの大切さを説いていました。

俳句もいろいろな見方、捉え方で考えることが大切です。ぜひ、皆さんも柔軟な思考で俳句を詠んでください。そして、大切なのは色々な人々のお陰様で生かされていると言う感謝の気持ちをいつの時でも忘れないことです。この俳句コンクールも大勢の皆様のご支援、ご協力で成り立っております。感謝の気持ちを大切にしてください。

ありがとうございました。

太田中央ライオンズクラブ俳句の会

会長 鈴木 信昭

## ◆鈴木伸一プロフィール◆

国際俳句雑誌「吟遊」同人。世界俳句協会会員。日本現代詩歌文学館評議員。85年、「俳壇正賞」受賞。

句集『桃夭』。編著『秀句350選 地』。共著『現代俳句の新鋭』『ようこそ俳句の世界へ。上毛ジュニア俳壇優秀句集1997～2009』『2010年朝の一句 上毛ジュニア俳壇年間優秀句集』『同2011年版』『同2012年版』『同2013年版』など。

97年より上毛新聞ジュニア俳壇選者として、年間22万を超える青少年俳句に接する。また、学校での俳句授業や講演なども行い、青少年が俳句に親しむ環境づくりに取り組んでいる。

### 太田中央ライオンズクラブ

国際協会333-D 第1リジョン第2ゾーン 会員数44名

所在地：太田市浜町3-6 太田商工会議所4階

電話：0276(45)9193 FAX：0276(48)5121

会長：濱田 博文 幹事：鈴木 信昭 会計：栗原 俊幸

### 令和7年度 太田中央LC子供育成事業

#### 第13回太田市小学生俳句コンクール 実行委員会

実行委員長：矢部 伸幸

令和7年11月29日発行

後援団体・会社：太田市 太田市議会 太田市教育委員会 上毛新聞社 群馬テレビ  
太田商工会議所 太田市青少年育成推進員連絡協議会  
太田俳句協会

編集：東京広告株式会社



## ライオンズへの参加を歓迎!!

ライオンズクラブは1917年にアメリカで誕生。世界約200カ国、130万人、日本では11万人の会員で構成されている世界最大の奉仕団体です。

「ウィサーブ」（われわれは奉仕する）を合言葉に様々な奉仕活動に取り組んでいます。

太田中央ライオンズクラブでは毎月2回の通常例会での情報交換を中心とし、老人ホーム慰問活動、清掃活動、青少年育成の小学生俳句コンクール、薬物乱用防止活動、外国人スピーチコンテストなど奉仕活動の分野は多岐多彩です。

「社会の役に立ちたいが、どうしたら？」とお考えの方にとって、太田中央ライオンズクラブへの参加は最良の選択肢となります。我々の一員として社会貢献しながら自分の人生をより豊かに成長させることができます。

**奉仕の歓喜で共に成長しませんか！**